

1. 入山日時：2013年6月28日(金) 12:30~14:30
2. 入山者：香遠・真砂
3. 目的：6月22日(土)の事後処理 及び 7月13日活動内容検討の為の状況確認。
 - 1) スズメバチの巣の除去。(詳細：写真参照)
 - ・6月22日(土)に金井さんがスズメバチの巣を見つけたが、当日は用具を持参していなかったため除去出来なかった。
 - ・撮影した写真を元にネットで調べた結果、スズメバチの初期の巣で今後これを核にどんどん大きくなること、または女王蜂が産卵して働き蜂を増やす時期で、日を追うごとに危険度が増すこと等が判った為、25日に一度入山したが、目印のクワの木が数本あったことと巣が小さかった為発見できず、2回目のトライアルでやっと発見、除去した。
 - 2) 「立ち入り禁止」の立て看板の設置。(詳細：写真参照)
 - ・昨年の今頃ヤマモモの枝が折られ、実を盗られた苦い経験があることから、記念樹ゾーン4ヶ所に「危険 スズメバチ飛来 入るな」「木の実を取らないで!」「関係者以外の立ち入り禁止」等のメッセージ入り看板を立てた。
 - 3) 記念樹ゾーン上部の草刈り。
 - ・5月24日の合同活動日に刈り残していた記念樹ゾーンの上部の下草を刈った。
 - 4) 7月13日活動参考情報
 - ・ここ数日の雨で、多目的広場や記念樹ゾーンの下草が再び伸びだしている。
 - ・暗渠回りは手付かずの状態で、早い時期に刈り込まないと手が付けられなくなる。
 - ・尾根道沿いに設置したフクロウの巣箱は枝が茂って上空から見つけづらい状況になっている。もう一つの巣箱の状況の確認と今後の進め方の検討が必要。

1) スズメバチの巣の除去・・・ 初期の巣で、女王蜂はここで働き蜂を育て大きな巣を作るとの事。



- ・直径8cmほどの初期の巣。発見時は徳利を逆さにしたような形で枝にぶら下がっていたが、首の部分は殺虫スプレーが強烈で、残念ながら壊れてしまった。
- ・表面は、枯れ木からかじり取った木の繊維を唾液のタンパク質などで固めた紙の様な「外被」で覆われていて、その中に六角形の巣が有る。

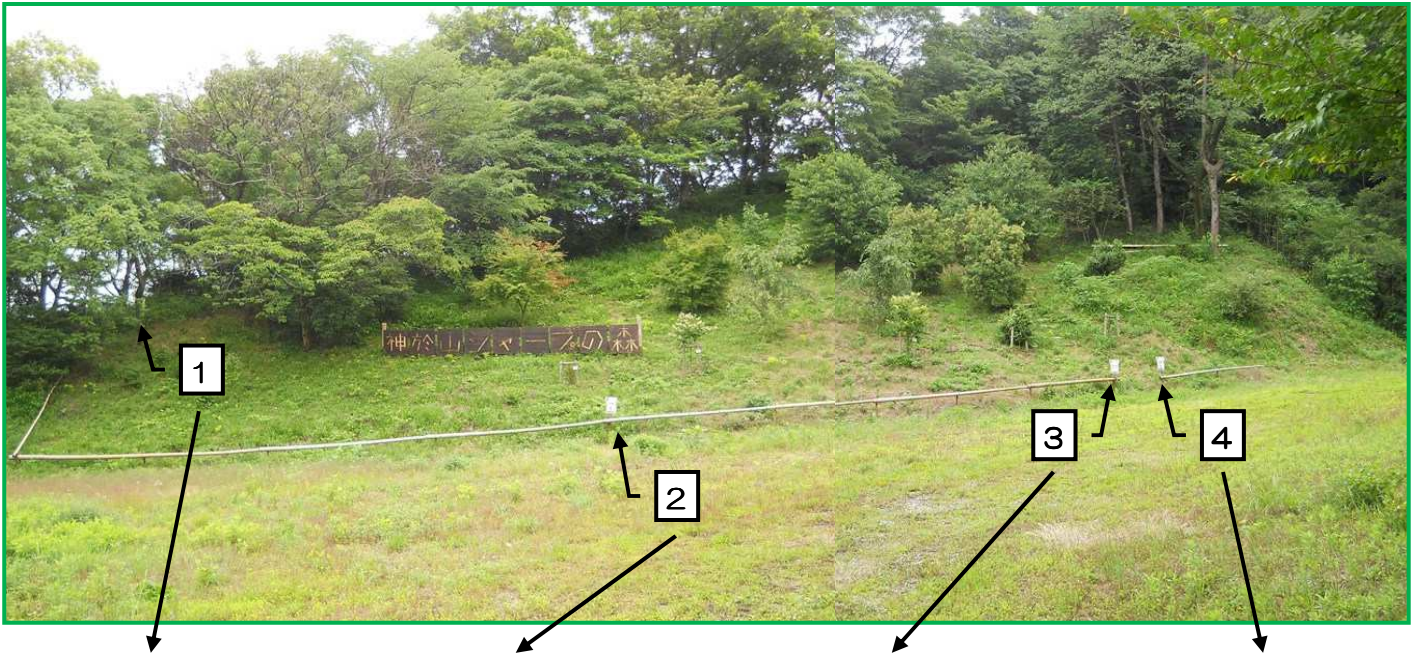


- ・外被の模様から蜂はコガタスズメバチの様に思われる。
- ・初期の巣は、女王蜂が一匹で作成り、働き蜂が孵化するに伴い別の巣を作り、規模をどんどん拡大して行くらしい。



- ・左の写真は、壊れた巣を下から撮影したもの。
- ・23個の巣穴に8匹の幼虫と2個の蛹、中央部分の三つの巣穴には卵らしいものが見える。
- ・成虫は差引10匹程度と思われるが、確認できたのは除去時に巣に居た2匹と、作業中に帰ってきた1匹の合わせて3匹のみ。
- ・巣はサンプルとして保管。

2) 「立ち入り禁止」の立て看板の設置・・・記念樹ゾーンの4箇所に設置。



- 記念樹ゾーンにはそれぞれ思いを込めた植樹をしているが、今年に入ってバイクでの入山者が斜面でモトクロスまがいの走行をしていることが判った為、竹のフェンスを付けた。
- またヤマモモが今年もたわわに実を付けたが、昨年7月に、ヤマモモの枝が折られ、実が全て持去られるという苦い経験をしたことから、今回緊急処置で立ち入り禁止の看板を付けた。
- 神於山シャープの森は一般の方が自由に入れる開かれた森を目標にしているだけに残念だが、マナーの悪い入山者が居る限り効果は？とは言え意思表示の為最低限の禁止処置を施す必要が有る。

《参考》2012年7月10日「チーム神於山チーフ活動報告」抜粋

◆ヤマモモの枝が折られ、実が全て持去られていました。 ヤマモモの枝は折れやすいですが、これは実を取る為の故意です。



• 3本全てに折られたり、振り切られた枝があります。傷跡から4～5日前の様です。• 折られ、捨てられていた枝。怒り心頭です。